

貂明朝アンチックが対応する OpenType 機能

リリース 11月 14, 2023 Version 1.011

貂明朝アンチックには、標準的な文字コレクションに含まれないマンガのセリフなどに用いられる文字・記号・符号類用の特殊なグリフ（字体）も含まれ、OpenType 機能をとおして利用することができます。これらの機能の一部は、Illustrator、InDesign、Photoshop などの OpenType 機能に対応したアプリケーションでだけ利用できる場合があります。

OpenType GSUB 機能

多くの一般的なアプリケーションで利用できる外字・記号・符号類

「字形組版／分解（ccmp）」機能

貂明朝アンチックが持つ特殊なグリフ（字体）の中で、OpenType 機能である「字形組版／分解（ccmp）」を使用して表示できる文字については、Illustrator、InDesign、Photoshop などの OpenType 機能に対応したアドビ製品や一部の社外製アプリケーションソフトウェアで利用可能です。五十音の平仮名・片仮名の後に合成用濁点「゛」（u+3099）や半濁点を「゜」（u+309A）を続けて入力することで濁点・半濁点付き仮名グリフに自動的に切り替えて表示・印字することができます。

Unicodeの文字コード列	グリフ(字形)	JIS X 0213の文字集合に含まれているか否か(Yes/No)
<004D 0300>	Ṁ	
<004D 0304>	Ṃ	
<006D 0300>	ṁ	
<006D 0304>	ṃ	
<00CA 0304>	Ě	
<00CA 030C>	ě	
<00EA 0304>	ẽ	
<00EA 030C>	ẽ	
<3041 3099>	ゐ	
<3041 309A>	ゐ゜	
<3042 3099>	ゑ	

Unicodeの文字コード列	グリフ(字形)	JIS X 0213の文字集合に含まれているか否か (Yes/No)
<3042 309A>	ぁ	
<3043 3099>	ぃ	
<3043 309A>	い	
<3044 3099>	ぅ	
<3044 309A>	い	
<3045 3099>	づ	
<3045 309A>	う	
<3046 309A>	う	
<3047 3099>	え	
<3047 309A>	え	
<3048 3099>	え	
<3048 309A>	え	
<3049 3099>	お	
<3049 309A>	お	
<304A 3099>	お	
<304A 309A>	お	
<304B 309A>	が	
<304D 309A>	ぎ	Yes
<304F 309A>	ぐ	Yes
<3051 309A>	げ	Yes
<3053 309A>	ご	
<3055 309A>	ざ	
<3057 309A>	じ	
<3059 309A>	ず	
<305B 309A>	ぜ	
<305D 309A>	ぞ	

Unicodeの文字コード列	グリフ(字形)	JIS X 0213の文字集合に含まれているか否か (Yes/No)
<305F 309A>	だ	
<3061 309A>	ぢ	
<3063 3099>	づ	
<3063 309A>	っ	
<3064 309A>	づ	
<3066 309A>	で	
<3068 309A>	ど	
<306A 3099>	な	
<306A 309A>	な	
<306B 3099>	に	
<306B 309A>	に	
<306C 3099>	ぬ	
<306C 309A>	ぬ	
<306D 3099>	ね	
<306D 309A>	ね	
<306E 3099>	の	
<306E 309A>	の	
<307E 3099>	ま	
<307E 309A>	ま	
<307F 3099>	み	
<307F 309A>	み	
<3080 3099>	む	
<3080 309A>	む	
<3081 3099>	め	
<3081 309A>	め	
<3082 3099>	も	

Unicodeの文字コード列	グリフ(字形)	JIS X 0213の文字集合に含まれているか否か (Yes/No)
<3082 309A>	も	
<3083 3099>	や	
<3083 309A>	や	
<3084 3099>	や	
<3084 309A>	や	
<3085 3099>	ゆ	
<3085 309A>	ゆ	
<3086 3099>	ゆ	
<3086 309A>	ゆ	
<3087 3099>	よ	
<3087 309A>	よ	
<3088 3099>	よ	
<3088 309A>	よ	
<3089 3099>	ら	
<3089 309A>	ら	
<308A 3099>	り	
<308A 309A>	り	
<308B 3099>	る	
<308B 309A>	る	
<308C 3099>	れ	
<308C 309A>	れ	
<308D 3099>	ろ	
<308D 309A>	ろ	
<308E 3099>	わ	
<308E 309A>	わ	
<308F 3099>	わ	

Unicodeの文字コード列	グリフ(字形)	JIS X 0213の文字集合に含まれているか否か (Yes/No)
<308F 309A>	わ	
<3090 3099>	ゐ	
<3090 309A>	ゐ	
<3091 3099>	ゑ	
<3091 309A>	ゑ	
<3092 3099>	を	
<3092 309A>	を	
<3093 3099>	ん	
<3093 309A>	ん	
<3095 3099>	が	
<3095 309A>	が	
<3096 3099>	げ	
<3096 309A>	げ	
<309F 3099>	ぐ	
<309F 309A>	ぐ	
<30A1 3099>	ア	
<30A1 309A>	ア	
<30A2 3099>	ア	
<30A2 309A>	ア	
<30A3 3099>	イ	
<30A3 309A>	イ	
<30A4 3099>	イ	
<30A4 309A>	イ	
<30A5 3099>	ヴ	
<30A5 309A>	ヴ	
<30A6 309A>	ヴ	

Unicodeの文字コード列	グリフ(字形)	JIS X 0213の文字集合に含まれているか否か (Yes/No)
<30A7 3099>	エ	
<30A7 309A>	エ°	
<30A8 3099>	エ	
<30A8 309A>	エ°	
<30A9 3099>	オ	
<30A9 309A>	オ°	
<30AA 3099>	オ	
<30AA 309A>	オ°	
<30AB 309A>	カ°	Yes
<30AD 309A>	キ°	Yes
<30AF 309A>	ク°	Yes
<30B1 309A>	ケ°	Yes
<30B3 309A>	コ°	Yes
<30B5 309A>	サ°	
<30B7 309A>	シ°	
<30B9 309A>	ス°	
<30BB 309A>	ゼ°	Yes
<30BD 309A>	ゾ°	
<30BF 309A>	ダ°	
<30C1 309A>	チ°	
<30C3 3099>	ツ	
<30C3 309A>	ツ°	
<30C4 309A>	ツ°	Yes
<30C6 309A>	テ°	
<30C8 309A>	ド°	Yes
<30CA 3099>	ナ	

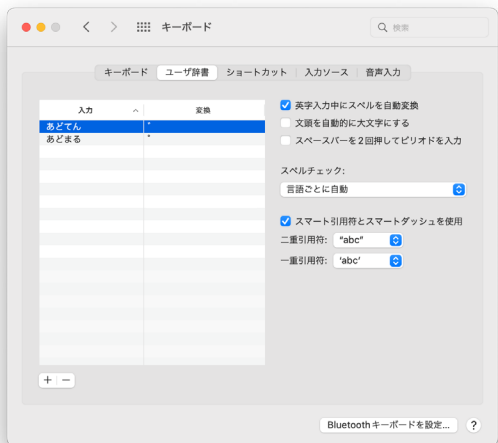
Unicodeの文字コード列	グリフ(字形)	JIS X 0213の文字集合に含まれているか否か (Yes/No)
<30CA 309A>	ナ [◦]	
<30CB 3099>	ニ [◌]	
<30CB 309A>	ニ [◦]	
<30CC 3099>	ヌ [◌]	
<30CC 309A>	ヌ [◦]	
<30CD 3099>	ネ [◌]	
<30CD 309A>	ネ [◦]	
<30CE 3099>	ノ [◌]	
<30CE 309A>	ノ [◦]	
<30DE 3099>	マ [◌]	
<30DE 309A>	マ [◦]	
<30DF 3099>	ミ [◌]	
<30DF 309A>	ミ [◦]	
<30E0 3099>	ム [◌]	
<30E0 309A>	ム [◦]	
<30E1 3099>	メ [◌]	
<30E1 309A>	メ [◦]	
<30E2 3099>	モ [◌]	
<30E2 309A>	モ [◦]	
<30E3 3099>	ヤ [◌]	
<30E3 309A>	ヤ [◦]	
<30E4 3099>	ヤ [◌]	
<30E4 309A>	ヤ [◦]	
<30E5 3099>	ユ [◌]	
<30E5 309A>	ユ [◦]	
<30E6 3099>	ユ [◌]	

Unicodeの文字コード列	グリフ(字形)	JIS X 0213の文字集合に含まれているか否か (Yes/No)
<30E6 309A>	ユ [◌]	
<30E7 3099>	ヨ	
<30E7 309A>	ヨ [◌]	
<30E8 3099>	ョ	
<30E8 309A>	ョ [◌]	
<30E9 3099>	ヅ	
<30E9 309A>	ヅ [◌]	
<30EA 3099>	リ	
<30EA 309A>	リ [◌]	
<30EB 3099>	ル	
<30EB 309A>	ル [◌]	
<30EC 3099>	レ	
<30EC 309A>	レ [◌]	
<30ED 3099>	ロ	
<30ED 309A>	ロ [◌]	
<30EE 3099>	ワ	
<30EE 309A>	ワ [◌]	
<30EF 309A>	ヰ	
<30F0 309A>	ヱ [◌]	
<30F1 309A>	ヺ [◌]	
<30F2 309A>	ン [◌]	
<30F3 3099>	ン	
<30F3 309A>	ン [◌]	
<30F5 3099>	ガ	
<30F5 309A>	ガ [◌]	
<30F6 3099>	ゲ	

Unicodeの文字コード列	グリフ(字形)	JIS X 0213の文字集合に含まれているか否か (Yes/No)
<30F6 309A>	ゲ	
<31F7 309A>	プ	Yes
<1B132 3099>	ご	
<1B132 309A>	こ	
<1B155 3099>	ゴ	
<1B155 309A>	コ	

- 仮名の後に続けて入力する濁点「゛」(u+3099) および半濁点「゜」(u+309A) は字幅を持たない特殊な文字で、デフォルトの IME では入力候補に表示されない可能性があります。このような特殊な文字を頻繁に入力する場合、あらかじめ IME の「ユーザー辞書」に登録しておくくと便利です。

(macOS での設定例)

	
合成用濁点「゛」(u+3099) と半濁点「゜」(u+309A) は、「文字ビューア」「絵文字と記号の表示」の「Unicode」「分類」「ひらがなとカタカナ」で見つけることができます。	「キーボード」「ユーザー辞書」から単語の追加設定で、「入力」に任意の「よみ」を、合成用濁点・半濁点の文字を「変換」に登録します。

- 仮名または仮名交じり語句を縦組みで繰り返す場合に用いられる「くの字点」の入力・表示・印字に対応する目的でも、この機能が使われています。

Unicodeの文字コード列	Unicodeの文字コード	グリフ(字形)
<3033 3035>	U+3031	く
<3034 3035>	U+3032	ぐ

- 全角の感嘆符または疑問符を複数個続けて入力することで、二連から五連までの感嘆符や疑問符のバリエーションのグリフに自動的に切り替えることができます。

Unicodeの文字コード列	グリフ (字体)
<FF01 FF01>	!!
<FF01 FF01 FF01>	!!!
<FF01 FF01 FF01 FF01>	!!!!
<FF01 FF01 FF01 FF01 FF01>	!!!!!
<FF01 FF01 FF1F>	!!?
<FF01 FF01 FF1F FF1F>	!!??
<FF01 FF1F>	!?
<FF01 FF1F FF01>	!?!
<FF01 FF1F FF1F>	!??
<FF1F FF01>	?!
<FF1F FF01 FF01>	?!!
<FF1F FF01 FF1F>	?!?
<FF1F FF1F>	??
<FF1F FF1F FF01>	??!
<FF1F FF1F FF01 FF01>	??!?
<FF1F FF1F FF1F>	???

OpenType 機能に対応したアプリケーションソフトウェアだけで使用可能な特殊なグリフ（字体）

OpenType が提供するグリフ置換（異体字切り替え）機能を利用して、マンガのセリフ表現などでよく用いられる特殊なグリフ（字体）の入力・表示・印字が可能です。これらのグリフ置換（異体字切り替え）機能に対応したアプリケーションソフトウェアだけで利用することができます。

Adobe Fresco を含むアドビ製 iOS アプリを使って、OpenType 機能に対応したアドビの Creative Cloud デスクトップアプリでテキストを編集したファイルを読み込むことで、これらの特殊なグリフ（字体）を iOS 側で表示させることができます。ただしテキストの編集はデスクトップアプリ側だけで可能です。

「すべての異体字（aalt）」機能

Illustrator、InDesign、Photoshop の字形パネルの「すべての異体字（aalt）」または「すべての字形」から選択可能な特殊なグリフ（字体）のデザインのバリエーションには下記のものがあります。

Unicodeの文字コード	グリフ(字体)	グリフの選択可能なバリエーション(異体)
U+FF01	！	！ ! ！
	!!	!! !! !!
	!!!	!!! !!! !!!
	!!!!	!!!! !!!! !!!!
	!!!!	!!!! !!!! !!!!
	!!?	!!? !!? !!?
	!??	!?? !?? !??
	!?	!? !? !?
	!?!	!?! !?! !?!
	!??	!?? !?? !??
U+FF1F	？	？ ？ ？
	?!	?! ?! ?!
	?!!	?!! ?!! ?!!
	?!?	?!? ?!? ?!?
	??	?? ?? ??

	??!	??! ??! ??!
	??!!	??!! ??!! ??!!
	???	??? ??? ???
U+1F31D		 

- これらのグリフ（字体）の中には、横組みと縦組みとでグリフの位置を変えるデザイン上の調整のために「縦組み用全角字形（vert）」グリフに自動的に切り替えられるものがあります。

（横組みと縦組みの表示位置の違い）

横組み用字形	縦組み用字形
	

- 以下のグリフについては、アンチック体のデザインとゴシック体のデザインで選択可能なグリフのバリエーションを持っています。

Unicodeの文字コード	デフォルトのグリフ（字体）	グリフの選択可能なバリエーション（異体）
U+3001	、	、
U+301D	≡	≡
U+301E	≧	≧
U+301F	≦	≦
U+FE11	、	、
U+FE12	○	○
U+FE35	（	（
U+FE36	）	）
U+FE37	｝	｝
U+FE38	｛	｛

U+FF08	(	(
U+FF09	)	)
U+FF0C	,	,
U+FF5B	{	{
U+FF5D	}	}
U+FF5E	～	～
U+FF5F	((	((
U+FF60	)	)
	‘	‘
	’	’
	“	“
	”	”
	/	/
	/	/
	”	”
	”	”
	⏟	⏟
	⏟	⏟
	⏟	⏟

「前後関係に依存する字形 (calt)」機能

「前後関係に依存する字形 (calt)」機能を有効にすることで、長音記号と波線ダッシュは始筆部と終筆部の形を保持したまま自在に長さを伸張させることができます。

Unicodeの文字コード列	前後関係に依存する字形 (calt) がオフ	前後関係に依存する字形 (calt) がオン
<30FC 30FC 30FC>	— — —	————
<3030 3030 3030>	~~~~~	~~~~~

(長音記号と波線ダッシュの使用例)

2倍の長さの長音記号	4倍の長さの波線ダッシュ
	

「ルビ用字形 (ruby)」機能

以下の文字では「ルビ用字形 (ruby)」に対応しており、ルビ用に特別にデザインされたグリフ (字体) を使用することができます。

ルビ	、 。 、 ° ・ 、 ヰ ヱ ズー () [] * ○ ◎ △ ▲ ※
	0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 あ あ い い う う え え お お か が き ぎ く ぐ け げ こ ご さ ざ し じ す ず せ ぜ そ ぞ た だ ち ぢ っ つ づ て で と ど な に ん ね の は ば び び ぴ ふ ぶ ぷ へ べ ぺ ほ ぼ ぽ ま み む め も や や ゆ ゆ よ よ ら り る れ ろ わ わ ゐ ゑ を ん ァ ィ ゥ ェ ェ オ オ カ ガ キ ギ ク グ ケ ゲ コ ゴ サ ザ シ ジ ス ズ セ ゼ ソ ゾ タ ダ チ デ ヅ ツ ツ テ デ ト ド ナ ニ ヌ ネ ノ ハ バ パ ヒ ビ ピ フ ブ プ ヘ ベ ペ ホ ボ ポ マ ミ ム メ モ ヤ ユ ユ ヨ ヲ ラ リ ル レ ロ ヲ ワ キ エ ヲ ヌ ヲ ヲ ヲ ヲ ヲ ヲ ヲ かけ ◎ ヲ ギ ェ ェ 。 こ こ ◎ ク シ ス ト ヌ ハ ヒ フ ヘ ホ ム ラ リ ル レ ロ

その他の OpenType GSUB 機能

加えて、以下の OpenType GSUB 機能を備えることで、源ノ角ゴシックサブセット日本語版と同等の機能に対応しています、「任意の合字 (dlig)」、「等幅全角字形 (fwid)」、「等幅半角字形 (hwid)」、「JIS78 字形 (jp78)」、「JIS83 字形 (jp83)」、「JIS90 字形 (jp90)」、「一般的な合字／標準合字 (liga)」、「印刷標準字体 (nlck)」、「プロポーショナル字形 (pwid)」、「縦組み用字形 (vert)」。

ただし、貂明朝アンチックは、日本語テキストを表示・印字すること主目的とする日本語フォントとして開発されました。そのため他の地域や言語圏で必要なグリフに切り替えるための「ローカライズの字形 (locl)」には対応していません。

OpenType GPOS 機能

以下の 7 つの OpenType GPOS 機能に対応しています、「字幅半角メトリクス (halt)」、「カーニング (kern)」、「プロポーショナルメトリクス (palt)」、「縦組み用字形 (vert)」、「縦組み字幅半角メトリクス (vhal)」、「縦組みペアカーニング (vkern)」、「縦組みプロポーショナルメトリクス (vpal)」。

- 「プロポーショナルメトリクス (palt)」と「プロポーショナル縦組用メトリクス (vpal)」により、通常の和文等幅のベタ組みが行えるだけでなく、和文で用いるグリフ（字体）に対しても、それぞれ固有の字幅をもたせてグリフを配置する（プロポーショナル）にすることができるため、いわゆる「ツメ組み」を行うことが可能です。
- 「ペアカーニング (kern)」と「縦書用ペアカーニング (vkern)」情報を含んでおり、Illustrator、InDesign や Photoshop の文字パネルの中の「カーニング」を「メトリクス」に設定すると、自動的に上記のプロポーショナルメトリクスが適用されるとともに、文字の組み合わせに応じたペアカーニングによる字間スペースの調整も適用されます。
- 源ノ角ゴシックと同様、「字幅半角メトリクス (halt)」、「縦組み用字形 (vert)」、「縦組み字幅半角メトリクス (vhal)」にも対応しています。

その他

源ノ角ゴシック (Source Han Sans) についての詳細は以下を参照下さい。

<https://github.com/adobe-fonts/source-han-sans/blob/master/README-JP.md>

Web ブラウザーでの OpenType 機能の使用については以下を参照下さい。

OpenType 機能の使用：

<https://helpx.adobe.com/jp/fonts/using/use-open-type-features.html>

CSS での OpenType 機能の構文：

<https://helpx.adobe.com/jp/fonts/using/open-type-syntax.html>